

# 次回新gTLD申請募集： 最新アップデート



2021年12月13日

## 新gTLDポリシー策定

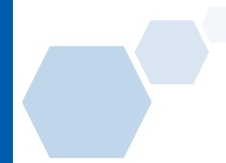
- (1) 振り返り

## Operational Design Phase

- (1) 概要
- (2) タイムライン
- (3) 12の視点

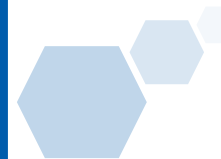
## ICANN72の進捗

- (1) BRG Session



### 振り返り

- 2012年に新gTLDプログラムが行われた結果、1,200件以上のTLDが増加
- ICANNの支持組織であるGNSO（Generic Names Supporting Organization分野別ドメイン支持組織）の下で、次回新gTLDの申請募集に関するポリシー策定（New gTLD Subsequent Procedures PDP）をワーキンググループを組成し、2016年～2021年検討
- GNSOは、2021年2月にポリシー策定の最終報告書を正式に承認し、ICANN理事会へ提出
- 2021年9月、ICANN理事会において、セカンドラウンド実施前に、Operational Design Assessment（運用設計評価、略：ODA）が必要であると判断し、実行スケジュールを計画

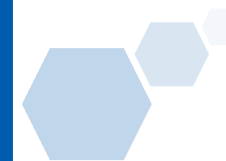


## 概要

Operational Design Phase (略: ODP) とは、GNSOによって作成されたポリシーを試験的に運用し、ICANNスタッフが工程の分析を行う一連のフェーズを指します。最終的に、ICANN理事会にOperational Design Assessment (運用設計評価、略: ODA) を提出します。それを受けて、ICANN理事会は、ポリシーを実施するか否かを判断します。

### 概要:

- ODPの目的は、次回のラウンド以降、拡張性をもって申請プロセスが進むことです。
- ODPは、アウトプットを12の視点から課題をまとめます。
- ODPの予算は、9百万米ドルを要します。
- ODPのタイムラインは、プランニングとレビューを含めて16ヶ月となります。



## タイムライン

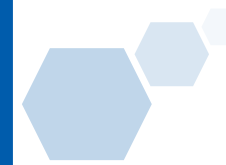
**Internal Project Organization:** Org internal infrastructure ramp-up to support this effort

- Project Management Framework Development
- Resource Build-Out
- Development and launch of Sub Pro ODP Webinars and other community engagement activities

**Operational Design Phase (ODP):** ODP execution stage to deliver the *Operational Design Assessment (ODA)*, based on the Board-determined scope

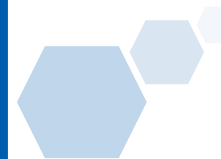
**Board Consideration:** Board's determination on the Final Report Outputs





## 12の視点 (スコープ)





## スコープ別の内容

### 1. Governance : 判断基準、説明責任、またはコントロールについての組織構成またはプロセスについて

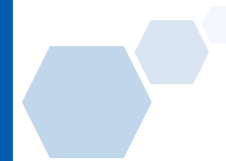
- ICANN理事会または組織のガバナンス構成
- Implementation Review Team (IRT) など

### 2. Processing and Operations : 申請、レジストリオペレーター及びその他関係するサポートのプロセスと業務

- 申請提出とプロセス
- 申請評価
- 紛争解決基準や競合状態の処理基準 など

### 3. Global Engagement, Linguistic Support, and Localization : IDNやUniversal Acceptanceなどを推進していくための周知活動とコミュニケーション

- Applicant Support Program (ASP)
- Universal Acceptance など



## スコープ別の内容

### 4. ICANN Contractual Compliance : 契約上の義務に関わるプロセス

- Contractual Complianceの基準とプロセス
- 既存プロセスへの新規プロセスの統合 など

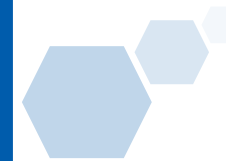
### 5. Systems and Tools : 必要なハードウェア、ソフトウェア、またはその他ツール

- 情報技術設計
- ICANNの既存システムへの組み込み
- サービスレベルアグリーメントなど

### 6. Vendors and Third Parties : 外部のリソース

- 調達が必要なプロセスを明確化
- ベンダーやサードパーティを選択するための基準とプロセスなど





### スコープ別の内容

#### 7. Resources and Staffing : 人材と社内リソースのレビュー

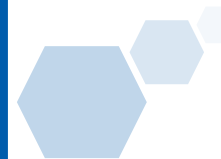
- 各フェーズの人材と社内リソースを想定する

#### 8. Finance : ラウンドを実行に伴う費用とコスト

- ラウンドをデザインし、実行するためのコストを想定する
- 申請者の申請費用を想定する
- レジストリオペレーターの運用費用を想定する

#### 9. Risks : リスクが発生する可能性と影響度の把握と対処法

- 全体的なリスク
- ポリシー策定が明確にできなかったアウトプット
- セキュリティのリスク など



## スコープ別の内容

### **10. Dependencies and Prerequisites** : ラウンドを開始を妨げる課題の整理

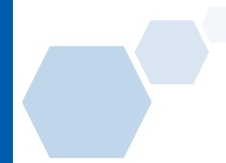
- セカンドラウンドを行うための前提条件
- ポリシー策定がレビューできていない内容 など

### **11. Global Public Interest** : 現在運用しているフレームワークを利用し、公益に対する影響を確認

- Global Public Interest Framework (試験版) は、2020年に固まったため、それを利用し、公益に対するポリシー策定のアウトプットによる影響を評価する など

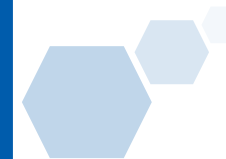
### **12. Timeline** : セカンドラウンドをデザインし、実行するためのタイムラインを想定する

- フェーズごとのタイムラインを提供する など



### 直近のアップデート（2021年12月現在）

- ODPにより、セカンドラウンドだけでなく、この先のラウンドもスムーズに実施するための基礎を作るとICANNは考えています。
- ICANNは、2022年1月にODPを開始する予定です。なお、ファーストラウンドの実施から10年目が経過します。

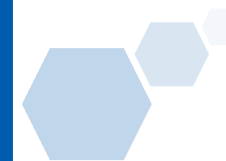


## BRG Session: Getting to the Next Round

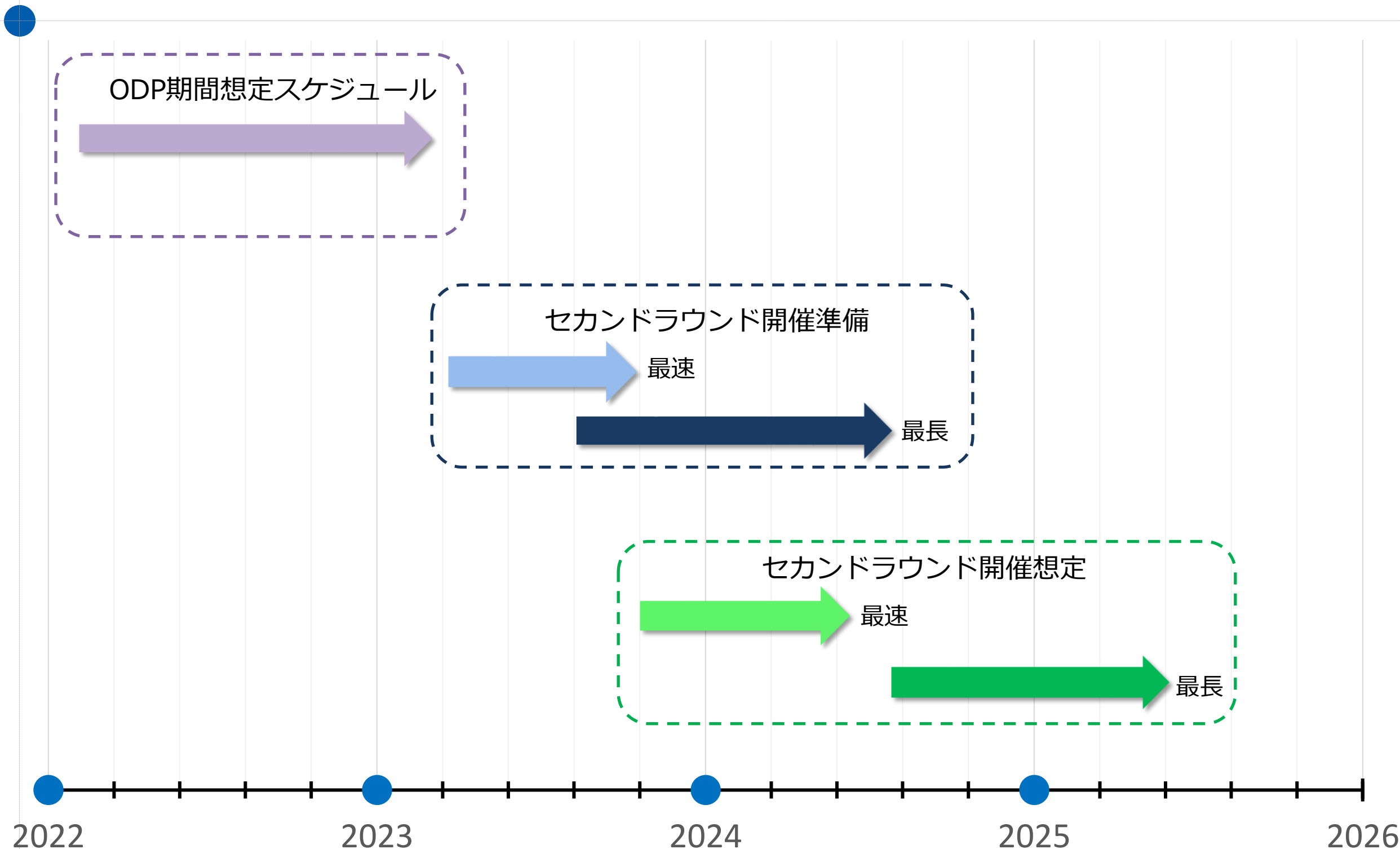
ブランドTLDを代表するグループであるBrand Registry Group (BRG)は第72回ICANNミーティングで、次回申請募集期間に向けて、様々な意見交換を行いました。

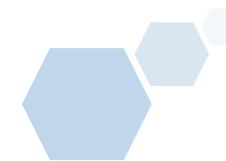
### 概要：

- ファーストラウンドの振り返りを行った。
- ブランドTLDの活用事例をいくつか共有した。
- セカンドラウンドに向けて需要があることを強調した。
- ODPを行う判断に対する懸念と疑問：
  - ODPを行うことにより、セカンドラウンドが遅延する。
  - ICANN理事会の判断は、不明瞭かつ遅延が目立つ。
- ODPを効率よく実行するための推奨事項：
  - ODPから不要な検証を省くべき。
  - できることを平行で進める。
  - ODPに関わるコストの内訳を明確にするべき。



## 次回ラウンドの予想タイムライン





当資料に関するお問い合わせは、下記までお願い申し上げます。

**GMO** Brights Consulting

GMOブライツコンサルティング株式会社

寺地 裕樹 / Michael Flemming

e-mail : consul@brights.jp

TEL : 03-5784-1069

Fax : 03-3462-5040

**BRANDTODAY**

<https://brandtoday.media>

- 当資料の著作権は、GMOブライツコンサルティング株式会社に帰属しています。
- 著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することを禁じます。
- その他の会社名、商品名、サービス名、ロゴは、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれ各社の登録商標あるいは出願中の商標もしくは商号である場合があります。